





審査結果報告書

2010年 2月 4日

主査	氏名	高相 昭士	
副査	氏名	岩淵 和也	
副査	氏名	林 俊治	
副査	氏名	石倉 健司	

1. 申請者氏名 : DM15028 星山 綾子
2. 論文テーマ :
生理活性ペプチド結合蛋白同定のための新手法の開発
3. 論文審査結果 :

現在の臨床では、インクレチンの作用に基づく糖尿病治療薬に注目が集まっており、糖尿病治療の多くを担っている。しかし、インクレチンは不活化が早く、活性化ペプチドの血中半減期が短いため、すい臓以外での生理活性保持のためには結合蛋白との複合体形成などに変化し、酵素消化されないことが必要である。

本研究は生理活性ペプチドの血中での結合タンパクを明らかにするために、十二指腸および小腸のK細胞によって合成される42アミノ酸ポリペプチドであり、すい臓β細胞からインスリンのグルコース依存性放出を引き起こすインクレチンの一つであるGIP (glucose-dependent insulintropic polypeptide) を用い、複合体形成の有無を検討したものである。可能性の高い候補蛋白をPeptide Sequence Matches (PSMs) から上位の蛋白を本研究の候補蛋白とし、IgG、アルブミン、トランスフェリンなどを挙げたものである。本研究は選考委員の詳細な検討のもと、医学博士の学位を与えるにふさわしい研究と判断し、結論した。